

報告書

知能情報工学分野 博士前期課程 2 年 近藤まなみ

2018 年 6 月 20 日から 22 日まで、スペインのトレドで開催された国際会議 **Distributed Computing and Artificial Intelligence(DCAD)**に参加した。学会においては、

「**Development of Agent Predicting Werewolf with Deep Learning**」を発表した。この研究は、不完全情報ゲームである人狼ゲームにおいて、深層学習を用いて未知情報を予測するというものである。本研究では AI 同士によって行われる対戦を取り扱っており、膨大なゲームログを学習データとすることで、人狼プレイヤーの発言・行動の特徴を抽出し学習するという手法を提案している。

人狼ゲームの発祥はロシアであるが、西洋、特にスペインにおいては日本国内ほど人狼ゲームが浸透していない。そのため、ゲームルールの説明やこのゲームを研究対象として取り扱うことでどのような益が想定されるかについて、特に慎重に説明した。

コーヒースタンドやレセプションの合間には、海外の研究者方と会話をし、自分の研究や展望について話した。世界的にゲーム研究は注目を集めており、多様に発展していていることがわかった。会話においては、英語に不慣れなためたどたどしい話し方になってしまったが、研究者方がこちらの言うことをしっかり聞き取ろう、理解しようとしてくれたので、拙いながらも会話をすることができた。海外の研究情勢を知る機会や、英語で自分の研究を説明することが普段はないため、本会議の参加によって貴重な経験を得ることができた。